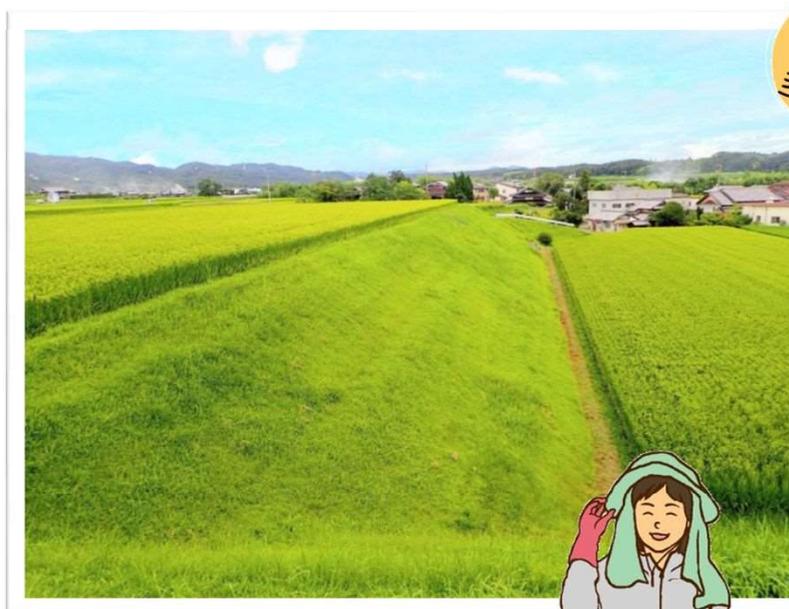


令和
5年度

東播磨・北播磨地域

多面的機能保全 向上活動発表会



日時

令和6年1月26日(金)
13時30分～16時00分

場所

三木市文化会館
大ホール

主催：兵庫県東播磨県民局・北播磨県民局

共催：兵庫県多面的機能発揮推進協議会 管内各市町

プログラム

優良地区の表彰 13:30~

最優秀賞

入ヶ池郷ため池協議会：稲美町

いきいき箸荷：多可町

優秀賞

清水新田ため池協議会：明石市

大木町農地水環境保全委員会：西脇市

田谷資源保全隊：加西市

事例発表 14:15~

入ヶ池郷ため池協議会（稲美町）

いきいき箸荷（多可町）

… 休憩 … (15:00~15:10)

研修 15:10~

「ムカデ芝を活用した畦畔管理の省力化手法」

① ムカデ芝の概要

タキイ種苗（株）緑化飼料課長 児島 隆政 氏

② 苗移植工法ほか取組状況報告

三木市・宿原地区協議会 木下 勝 氏

③ 種子吹付工法の紹介

（有）だるま製紙所 専務取締役 高瀬 成士 氏



にゅうがいけごう
入ヶ池郷ため池協議会
(稲美町北山)

「地域の清掃で町をきれいに」



自治会などとの共同の清掃活動

入ヶ池郷ため池協議会では、地域をきれいに保つため、自治会と共同で地域の清掃活動を行っています。
また、遊休農地発生防止のために休耕地でコスモスの播種活動を行っており、地域の景観形成及び環境保全に取り組んでいます。

【農地・農業用水等の適切な保安全管理】



水路の泥上げ



水路の草刈り



ため池の草刈り



施設の点検・機能診断

【活力ある地域づくり】

自治会などで行う地域の清掃活動やコスモスの播種活動を行い、地域全体の環境維持活動と遊休農地発生防止の活動に取り組んでいます。



コスモスの播種



地域の清掃活動

【環境創造型農業の推進】

町内酪農家から供給される牛糞もみから堆肥の施用や、ヘアリーベッチを緑肥として活用するなど、化学肥料の低減に努め、持続可能な農業生産にかかる取組を実施しています。



緑肥の様子



ひょうご推奨ブランド米
「万葉の香(コシヒカリ)」

次代につなぐために

北山地区は高齢化が進み共同作業参加者が減少傾向にあります。そのため自治会等と協力し、地域全体で清掃活動を行い、活動への理解醸成に取り組んでいます。また、遊休農地を発生させないようにコスモスの播種活動を行っており、地域全体の環境維持活動にも取り組んでいます。さらに地域の担い手として農地の大部分を営農組合に集約するとともに、草刈り等の作業では、作業者に負担がかからないように、機械の導入などにより作業の省力化を進めています。

はせがい いきいき箸荷

(多可町加美区箸荷)

「農村景観を守り続けるコミュニティづくり」

多可町の北部に位置する箸荷地区は、平成12年「箸荷景観むらづくり協定」を締結し、景観形成による地域づくりとして農道などに花苗の植栽を行っています。また、百々手（ももて）祭りや村芝居など農村文化の伝承を通じたコミュニティづくりを行っています。



景観形成活動（花いっぱい運動）
によるスイセンロード

【農地・農業用水等の適切な保全管理】



点検・機能診断



農道の草刈り



遊休農地発生防止



鳥獣防護柵の点検・補修

【活力ある地域づくり】

県が認定する住民協定制度の第1号となる「箸荷景観むらづくり協定」により農道などに花苗を植栽し、景観に配慮した建物など農村風景を守り続けています。毎年2月11日には五穀豊穡などを願う百々手（ももて）祭りが開催され、伝統的な祭礼が受け継がれています。



植栽等の景観形成活動



百々手（ももて）祭り

【環境創造型農業の推進】

化学肥料・化学農薬5割低減の水稻を栽培しています。地区内牧場との耕畜連携により、牛糞堆肥による土づくりを実施しています。



堆肥の散布

次代につなぐために

今までの永い歩みの中で形成された美しい農村風景を次世代に残していくため、今後も「箸荷景観むらづくり協定」を守り、景観に配慮したむらづくりを進めていきます。

農家戸数の減少や高齢化により農用地等の維持が困難となる中、人・農地プランの実質化や、農地中間管理事業による農地集積化により、地域農業を支え合う持続可能な共同体を確立します。

耕畜連携により地元牧場の良質な牛糞堆肥を多可町内へ供給します。また、乳牛の排泄物を利用してメタンガス発酵を行い発電する「箸荷バイオガス発電所」を今後展開予定です。



しみずしんでん 清水新田ため池協議会

(明石市魚住町清水)

「ため池をみんなで守って地域の宝に」



ため池クリーンキャンペーン

当地区には8箇所のため池があります。毎年実施しているため池クリーンキャンペーンには、自治会や子供会、PTA、消防団など多くの地域住民が参加しています。

また、環境保全活動の一環として、ため池に生息する特定外来生物・アカミミガメの駆除作業を行っています。

【農地・農業用水等の適切な安全管理】



農道の草刈り



水路清掃



アカミミガメの捕獲



アカミミガメ駆除

【活力ある地域づくり】



キャンペーン開催状況



ため池ゲート清掃

地域住民の活動への参画や理解を深めるため、自治会、子供会及び消防団も参加し、ため池クリーンキャンペーンを行っています。

【環境創造型農業の推進】



ヘアリーベッチの栽培

水稻栽培において、ヘアリーベッチを活用したカバークロープの取組により、土づくりを行い、化学肥料、化学合成農薬の削減に取り組んでいます。

次代につなぐために

高齢化や少子化による人手不足に備え、地域住民の活動への参画や理解を深めるため、クリーンキャンペーンなどの活動に取り組んでいます。

清水新田地区では、人と人のつながりを大切にするため、営農組合が中心となって、水稻・キャベツを出荷販売するほか、次の担い手がいない農地の相談にのったりしています。また、市民農園を開設して地域交流を行っています。

おおぎちょう

大木町農地水環境保全委員会

(西脇市大木町)

「次世代に農業を繋ぐ～SDGs 地元堆肥を
活用した農業体験教室～」

優 秀 賞

地元資源（庭木や裏山の天然林の不要な枝葉のチップ）と牛糞・米ぬかを混合した「堆肥」を施用した田畑で、地元の子どもなどを対象に農業体験教室（田植え・芋ほり等）を開催し、次世代への農業継承に取り組んでいます。また、定期的に水質検査を行い、良好な水質の維持に努めるなど、SDGsな取組を実践しています。



田植え体験教室

【農地・農業用水等の適切な保安全管理】



水路の草刈り・泥上げ



鳥獣防護柵の補修



遊休農地の管理



水門塗装・グリスアップ

【活力ある地域づくり】

農業体験教室で、田植え・さつまいも栽培→稲刈り・芋ほりを年4回開催。この体験は次世代に対して、農業への理解を醸成し、多面的活動をPRする良い機会になっています。また、町内全体で伝統行事である豊作秋祭りを開催しています。



体験教室の稲刈り



豊作秋祭り

【環境創造型農業の推進】

地元資源(庭木や裏山の枝葉等)をチップにして牛糞・米ぬかと混合して堆肥化し、田畑の土壌づくりに施用・還元しています。また、水質検査では検査キットを活用し、良好な水質の維持に努めています。



堆肥のくれ返し



水質検査

次代につなぐために

大木町は森林に囲まれた地域です。その地元資源を活用した堆肥を施用しています。

また、「次世代への農業継承」を軸に農業体験教室（田植え→稲刈り、さつまいも栽培→収穫等）を開催しており、次世代に対して、地元資源を活用することで興味を持ってもらい、農業体験を通して、農業への理解を深めてもらう機会を作っています。これらの活動が将来の担い手を育成する機会になればとの思いで毎年開催しています。

今は我々主体で守る農地が、地域全体で農地を守る取組へと移行していくことを願うとともに、今後は農地中間管理機構との連携を含め、様々な繋がりで農業を支えていきたいと思っております。



た や 田谷資源保全隊

(加西市田谷町)

「みんなの集うコスモスまつり」



コスモスまつりを通じた交流

同じ小学校区内の6集落で、10年以上前からコスモスまつりを開催しています。美しい景観を求めて集落内外から多くの訪問客があり、集落コミュニティの活性化を図っています。また、3箇所のため池を指定貯水施設とし、低水位管理による災害の未然防止にも努めています。

【農地・農業用水等の適切な保全管理】



水路の草刈り



町内清掃活動



ため池の低水位管理



【活力ある地域づくり】

集落内の農地を活用してコスモスを植栽し、「コスモスまつり」を開催しています。集落内や近隣集落にとっては、三世代交流の場として、集落外からの訪問客にとっては農業や農村への興味のきっかけになっています。

「しめ縄作り体験」や「とんど」などの催しで世代間を超えた交流を行い、次世代を担う若者たちへ農村文化の継承とふるさとへの愛着や理解をもってもらおうと考えています。



子ども会と協力してコスモス播種



コスモスまつり



しめ縄作り体験



とんど

次代につなぐために

人口流出や高齢化により、地区の農業・コミュニティの維持が危ぶまれています。農家や非農家に関わらず、地域資源保全のための共同活動の重要性を十分に共有することが大切です。

また、将来に向け地域に根ざした次世代の人材を育成するため、「コスモスまつり」や「しめ縄作り体験」「とんど」など子ども会との活動協力や世代交流に注力しています。地元への愛着と地域資源の保全管理に対する理解を醸成していくことでふるさとを守る人材を育てていかなければならないと考えています。

